

比田勝、そして、博多を運航していた旧B E E T L Eは伊万里の造船所の方にあげている。それでこの韓国便が再開されますとQUEEN B E E T L Eが釜山・博多の間に就航させるという情報までしか私も聞いておりません。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

私はこれで一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、1番、糸瀬雅之君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を2時半からといたします。

午後2時13分休憩

午後2時30分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 午前中の会派代表質問で廃校舎に関する質問がございました。

例えば、地域で利活用をしたくても広大なグラウンド内の雑草処理に難色を示されてなかなか活用できないというようなことが、お話が上がっておりますので、定期的な管理の御検討を何とかお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

それでは、初めに、本日の質問は新型コロナ感染拡大における本市の役割と救急搬送の実態について、それから、悪性疾患の副作用の影響による脱毛に対し、医療用ウィッグ購入費の助成についての2点6項目について御質問いたします。

本年、7月末から国内の新型コロナ新規感染者数は4週連続で世界最多と世界保健機関、WHOから報告されておりました。

本市でも、感染者数は、8月中旬以降、最高値に達し、市民生活や社会機能に影響を及ぼすなどの緊急事態に陥り、比田勝市長は自ら対馬市CATVで緊急会見が行われました。本日は「新型コロナ感染」というワードにどう向き合っていくかなど、課題解決のために本市の具体的な取組と本市の役割についてお尋ねをいたします。

1項目めでございますけれども、9月9日をもって終了いたしました市内の感染情報放送やオミクロンの変異株に有効なワクチン接種への通知は本市の業務として捉えていますが、新型コロナ感染症の収束に向けて対馬保健所と市内医療機関の連携は不可欠と思われます。一向に収束の兆しが見えない新型コロナ感染について、市民の皆様からの問合せに関する対策窓口は設置されているのでしょうか。

また、8月中旬以降、感染拡大により自宅待機を含め医療、福祉、介護や一般事業所を含めたマンパワー不足が懸念されております。感染者者の復帰までの間、事業所等の業務負担軽減、このための作業従事者に市の職員の派遣のお考えはないでしょうか。

3項目めです。このたびの感染拡大によって入院治療やPCR検査など、医療従事者は疲弊し、検査体制や医療提供体制は逼迫しています。加えて、感染症とは別に緊急治療を要するハイリスク患者さんの受入れなど、医療現場は極めて厳しい労働環境であります。市長御自身はこの実態をどのように捉えていますかお尋ねをいたします。

新型コロナ感染症から3年を経過し、感染予防ワクチンの接種率の向上をし、高齢者や基礎疾患罹患患者を除いて症状も微熱や咽頭痛など、比較的軽症になりつつあります。このような軽症者であっても救急搬送要請はどのような実態であったのでしょうか。お尋ねをいたします。

新型コロナ関連の5項目、最後の質問です。

7月に開催されました厚生労働省の感染症専門会議で、感染症も増加傾向の可能性が示唆されましたが、一日も早い終息を願っておりますけれども、医療機関での検査体制の負担軽減のため、初期症状時に御家庭や職場などで速やかに検査ができるよう、新型コロナ抗原定性検査キットの配布をお考えについてお尋ねをいたします。

2点目でございます。悪性疾患の副作用の影響による脱毛に対して医療用ウィッグ購入費の助成について質問いたします。

抗がん剤治療の副作用による脱毛で就労や職場復帰など、日常の社会生活に支障がないよう医療用ウィッグの活用が求められております。

医療用ウィッグの助成は長崎県下24市町のうち1市のみが検討されていますが、県下で2例目になるよう購入費用の予算措置のお考えはないでしょうか。

以上、2点6項目についてよろしくお願ひいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 伊原議員の質問にお答えいたします。

なお、答弁の内容に一部重複する部分がございますので御了承願ひます。

初めに、新型コロナウイルスに対する医療機関、保健所、市の連携についてでございますが、協議の場を持ちながら、それぞれの役割における現在の状況について情報を交換し、お互いに協力し合っております。

新型コロナウイルス感染症に関して市が担っている役割としては、新型コロナワクチンの接種がございます。ワクチンの接種会場、スケジュール、予約方法等に関する御相談であれば、市が設置しておりますワクチンコールセンターにて対応しておりますので、お電話していただくか、対馬市の公式LINEにおきましても、ワクチン接種に関する情報発信や予約受付等をしており

ますので御登録をお願いいたします。

ワクチン接種業務以外の部分につきましては、県が中心的な役割を果たしております。まず、発熱や風邪症状がある方の受診に関する御相談ですが、かかりつけ医がない場合や夜間・休日等の受診に関する御相談は、フリーダイヤルで24時間対応の長崎県受診・相談センターに連絡していただくよう御案内しているところでございます。かかりつけ医がいる場合には、診療時間内にかかりつけ医に電話で相談してください。

なお、重症化のリスクが低く、症状が軽い方につきましては、市販の解熱鎮痛薬で様子を見るなど、医療機関に負担をかけない方法も御検討いただきたいと思います。

新型コロナウイルスに関する健康不安等につきましては、保健所が対応しておりますが、よくある質問とその回答の情報が長崎県のホームページにもまとめてございますので、そちらも参考にされた上で、なお、御不明な点がございましたら対馬保健所に電話で御相談いただきたいと思います。

次に、2点目のマンパワー不足に伴う事業所等への市職員の派遣についてでございますが、業務の内容に違いはあれ、市民生活への影響を最小限にとどめるため、また、市役所の業務停滞により市民の皆様にご迷惑がかからないよう、市役所内においては横の連携も取りながら業務に取り組んでいるところであります。

そのような中、多種多様な一般事業所へ市職員を派遣し、支援を行うことは対馬市の経済及び地域活力を支えるためには一つの方策であるとは思いますが、一方、職員の派遣をすることで市役所本来の業務に支障を来すことは避けなければなりません。

現在、他の機関と連携した感染症対策への取組としましては、健康観察、疫学調査のため、保健所及び病院に保健師を派遣してきたところでございます。また、病院や消防とも協議しながら救急による受診後に公共交通機関を利用できなくなった方への交通支援や、感染者への物資供給支援をできる体制を整えております。

また、希望される全ての一般事業所へ職員を派遣することは、通常業務に加え、市の立場から変化の著しい新型コロナ対策に取り組んでいるところを鑑みますと、市役所のマンパワーにおいても非常に難しいと考えます。議員が市民生活への影響を心配されての質問であることは十分に承知しておりますが、御理解いただきたいと思います。

次に、医療現場の逼迫状況についてでございます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療の現場は検査業務や感染者への対応等に追われ、逼迫の度合いは限界に近いものであると認識しております。

加えて、医療従事者自身が陽性者あるいは濃厚接触者になる事例も多く発生しており、一般医療にも影響が出ていると伺っております。

既に市が対応していることとして、対馬病院及び対馬保健所に保健師を派遣し、問合せ電話の対応や軽症者等である交通弱者の市民に対して市職員による搬送を行うなど、協力体制を取ってきたところでございます。

現在、医療従事者の心労はピークに達しております。市民の皆様には、医療の現場において医療的に必要ない検査を強要したり、心ない言葉をかけることは控えていただき、医療従事者に対する御配慮をしていただきますようお願いいたします。

医療現場の負担を少しでも減らすために私たちができることは、一人一人が基本的な感染防止対策を確実に実施すること。そして、ワクチンを接種して重症化のリスクを減らすことです。

新型コロナワクチンをまだ接種していない方につきましては、いま一度ワクチン接種を御検討くださいますようお願いいたします。

次に、救急搬送の実態についてでございますが、まず、救急要請の状況について、令和2年1月にコロナが日本で確認されてから、本年7月末まで本市のコロナ感染者の搬送件数は6件でしたが、8月だけで69件と爆発的に増加しております。

そのうち、約半数は初診時に軽症と診断されている状況でございます。搬送の実態については、救急要請をされる方の中には、コロナでない重篤な病気が潜んでいる可能性が否定できませんので、結果的に軽症と診断される患者さんも救急隊が搬送しております。

しかしながら、コロナ陽性の確定診断を受け、自宅療養中で症状が優れないと思われる方の中には、再度、救急要請をされる方もいらっしゃいます。このような方につきましては、まずは救急隊が現場まで行って、患者さんの容体を確認し、自分で歩行できるとか基礎疾患がないなど、幾つかの条件を満たした場合は救急担当の医師と相談の上、救急車で病院へ搬送しないこともあります。このような患者さんは、一定条件の下、市役所の公用車で搬送し、受診できるよう協議済みでございます。

次に、新型コロナ抗原定性検査キットを各世帯へ無料配布できないかとの御質問ですが、8月中旬から8月下旬にかけて、対馬市においてはこれまでにない感染者数が発生し、医療機関におけるPCR検査においても100名を超える日があるなど、PCR検査における医療機関の負担は大きくなってまいりました。

現状は落ち着きつつあるものの、第8波に向けてさらなる検査体制の改善は必要であると認識しております。

この医療機関の負担軽減に向けた検査体制の改善は全国的な課題とされており、国の検査体制や感染者数の全数把握等の見直しを受け、9月1日に長崎県知事の記者発表がなされております。

その中の診療、検査の見直しについてですが、医療機関等での診療については、65歳以上、または小学3年生以下、重症化リスクのある方、妊婦、症状がきつい方を基本的な対象とし、発

熱等の軽症の方については、長崎県が9月2日に設置した長崎県抗原検査キット配布センターに連絡することにより、抗原検査キットが無料で郵送され、自主検査ができるようになっております。

抗原検査キットの申込みについては、パソコン・スマホ等からの申込みになりますが、若年層等を中心にこの対応が可能であると考えております。

また、医療機関の負担であった健康観察等におけるHER—SYS入力についても、65歳以上の方などに限定されることとなり、これについても医療機関の負担軽減は図られるものと考えております。

以上のことから、御質問のあった新型コロナ抗原定性検査キットの各世帯への無料配布については、長崎県において仕組みづくりがなされており、全世帯対象とはなりません。一部、自主検査ができる体制となっておりますので、現段階では実施する必要性はないものと考えております。

しかしながら、今後のコロナ感染者状況、動向を見ながら、必要な場合にはこのことを含めて医療機関の負担軽減に向けた施策の検討を行ってまいりたいと考えております。

最後に、悪性疾患治療の副作用による脱毛に対する医療用ウィッグ購入費の助成についてでございますが、がん治療中の方は、抗がん剤治療などの副作用で髪が抜けてしまうことがございますが、医療用ウィッグの購入費は健康保険の対象外で全て自己負担となっております。

医療用ウィッグの購入に対する助成金制度は、長崎県内においては平戸市が令和2年度から、川棚町が令和4年度から実施しており、平戸市では年間5件前後の申請があつているとのことであります。

この助成金は、がんになっても安心して暮らせる社会の構築に向けて、治療による見た目の変化に悩むがん患者の方々の社会参加を後押しすることにつながるものでありますので、本市におきましても他の市町の状況を参考にしながら、実施に向けて内容を検討してまいります。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） どうもありがとうございました。

それでは、順を追って再質問ということで進めさせていただきます。

1点目の感染症の相談窓口の設置ということで、現在においては、いろいろな状況は市としての対応はしているということでございますが、9月9日ですかね、国のほうからコロナ感染症全数把握の簡略化の開始によって、重症化リスクの高い高齢者や治療中の方々を除いて長崎県でも保健所の届出が簡略されております。このことによって、15時台の感染情報放送は9月10日で放送中止となっております。

このことについて、放送中止の状況につきまして何かの問合せ等がございましたか。それから9月10日以降の感染者数の把握はされておりますか。若干、右肩下がりという、9月に入って右肩下がりということは確認をしておりますけれども、もし9月10日以降、昨日までの感染状況がお分かりになれば少し教えていただきたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 議員おっしゃられるように、9月10日から市町村ごとの感染者数の発表は、県のほうから流れてきておりませんのではっきりとした人数は分かりませんでした。

ただ、何といえますか、全体の感染者数というのは何日か遅れますけれども、大体の状況は教えていただきました。その中で今週に至ってはもう10人台。10人台まで。

○議員（6番 伊原 徹君） 10人。

○市長（比田勝 尚喜君） はい。15人ぐらいだったんでしょうかね。かなり落ち着いてはきている状況というふうに判断しております。

ただ、はっきりとした市民の皆さんに公表される数字はこちらとしては、つかめませんので、大変申し訳ないというふうに思っております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 先ほどもずっと新型コロナの感染の質問がございました。8月15日、盆過ぎに141名が最高値でしたですかね。それから、月末に向かって、若干、右肩下がり。それから、9月に入って10名程度ということで、これをグラフ化すれば一目瞭然でしょうけど、右肩下がりということで非常に嬉しい状況かなと思っております。

一方で、重傷者や高齢者などの窓口は、今までどおり、県の保健所ということでございますけれども、症状の低い方につきまして、県が新たに健康観察センターへの連絡体制が整備されるということになっておりますけれども、このことはまだ始まったばかりで多少の混乱が生じるのではないかと思っております。

このコロナに関しては、3年以上前ですか、中国の武漢、ここが発生元やないかと言われておりますけれども、一番悔やまれることは、WHOあたりがこのことを認識しながら十分な調査もできなかったと。これは国の姿勢そのものだと思って、非常に残念でなりませんけれども、私たちがこのコロナという一つの感染にどう立ち向かうか、これからが非常に大きな要素だと考えておりますので、確かにその第2類の、県の事業かも分かりませんが、市も医療機関とそれから保健所と一体となって、市民の方々が感染をするわけですから、市のほうも何らかの形で少し役割を、大きな役割を持たれることが必要じゃないかと思っております。

特に冬場になりますと、また先ほど第8波の市長からのお話がございましたけれども、冬場やまたインフルエンザも風邪も、それから、コロナ感染も今後するような、こういった状況下にな

るのではなからうかと思っております。

午前に入江議員さんからもお話がありましたように、時間オーバーでシールドを含めた感染予防のガウン一式だとか、それからパルスオキシメーターだとか、それから自宅待機の感染予防対策としてホテルでの借上げの拡大とか、いろいろございました。時間がなくて、この3点について入江議員さんから圧をかけられておりましたので、是が非でも、このことについても先ほどの相談窓口と併せてこのような感染対策につきましては何らかの形で、また所内で、所内というか、その組織のほうで十分に協議をしていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから、2点目でございます。

コロナ関連につきまして、市の職員の派遣の可否についてお尋ねをいたしました。確かに難しい状況だと思います。一般事業所もそれぞれ様々な業務をしておりますので、いきなり、はい、そうですかというわけにいきません。これは当たり前の話で、この部分は十分私も認識はしております。

特に、今回の新型コロナ関連での営業不振で、事業展開ができなくなったということで負債額が1,000万円以上の事業所が、昨年、前年度、令和3年度、長崎県下で12件の営業不振ということで倒産されたと。今年に入りまして、7月、8月で9件ということが報じられておりました。

これに加えて、原油価格の高騰、それから物価高の影響など、事業者を取り巻く環境は著しく厳しさを増しております。

特に、やはりマンパワー不足ということで、いろいろ、今回の補正もマンパワー不足は関係ないんですけど、やはり事業展開する上でのソフト部分のいろいろな補正予算も計上されていて、このことについては非常に喜ばしいことじゃないかと思っております。

そういったその窓口も含めて、オール対馬で進めるべきだと思っておりますけど、悲しい、先ほど倒産のお話をしましたけれども、こういったことがないように、市のほうも当然やっぱ相談、窓口を含めた市内の状況把握、この情報が共有できるようなことが必要かと思っておりますので、このことも十分認識をされて進めていただければなと思っております。

これは余談ですけど、福岡あたりにも支店・本店がある事業所が、やはり福岡のほうも感染拡大によって、作業従事者が自宅待機等で対馬から相当応援に行かれております。このことは御存じでしたでしょうか。

そうですね。はい。

それと加えて、クリニックも1週間程度休診ということも7月ぐらいでしたか、あっております。こういった形で、働き方改革という話も先ほど出ましたけれども、軽微な作業でも、少

しでも従事できるような、そういったシステムも必要じゃないかと思っておりますので、少しその辺り、異業種の方々との連絡調整会議もあっておりますけれども、この辺りで少し情報を共有しながら、何らかの形で少しお手伝いできないかという手だては必要ではないかと思っておりますので、またこの件はよろしく願いいたします。

それから、3点目の感染拡大による医療現場の実態把握ということで、保健師さんを派遣されてあるということなんですが、これは今も継続をしてありますか。保健師さんの。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 保健師を派遣しておりましたけれども、今は、もう帰ってきているそうであります。今後もしこういう段階になってくれば、保健師の派遣もあり得るというふうに考えております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 8月の19日ぐらいでしたかね。県医師会長の会見がございまして、県下の医療提供体制が崩壊の危機にあるということの声明が発表されました。それから、その後だったと思います。8月26日ぐらいですかね。CATVの市長の緊急会見で医療機関のPCR検査の強要だとか、それから医療従事者への心ないクレームなど、逼迫した医療機関への現状をお伝えしたことによって、ある程度は鎮静化したかなと思っております。

それから対馬医療圏の感染病床の利用率、直近では60%台を推移しておりますけれども、ピーク時、いわゆる8月の盆過ぎでは、これは90%以上を上回る勢いであったというふうに聞いておりますけれども、こういった現状は、8月以降の盆過ぎの医療機関の現状というのはどれだけ認識をされてあったのでしょうか。お願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 要は病院のほうからうちの総務のほうが大体の現状を聞いて、それを私のほうに報告をしていただいているというような状況でありまして、特に対馬圏域の病床の、病院の逼迫度は大変だというようなことで、実は私のほうも対馬病院の院長先生に電話いたしまして「今度、CATVで会見するときは病院側の意見も直接お伝えしたいというような思いがありますので」ということで「先生のほうからそこら辺をできたらメールか何かでも送ってください」ということで送っていただいて、それを市民に向けて述べたということでございます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 1点目に申し上げましたとおり、保健所、それから、医療機関、対馬市の連携によって日頃の情報交換が極めて有用やないかと思っておりますので、引き続き、連携を保ちながら遺漏のないように、この問題の解決に向けて取り組んでいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから、4点目でございます。救急搬送の実態ということで、7月は6件程度だということなんですが、8月だけでも69件。その半数、おおよその30件前後が軽症であったという話でございました。

このような状況下で非常に逼迫した医療体制、それから、感染の拡大という最大の難関でございましたけれども、当然、救急車を利用しますと少しでも早く診てもらえるというような、そういった風潮が多々あったんじゃないかと、この期間中に。救急要請の実態はある程度、把握できましたけれども、医療現場同様、救急現場でも大変な状況ではあったのではないかと思います。感染拡大時と比較して、9月に入って現状はいかがでしょうか。すみません、突然で。

○議長（初村 久藏君） 消防長、主藤庄司君。

○消防長（主藤 庄司君） 9月に入っての搬送状況はという御質問でございますが、9月に入りまして10日までの累計が18件でございます。単純にこれを3倍しますと9月1か月間の見込みは60件弱ということでございますが、先ほど市長が答弁で申しましたように、8月は69件となっておりますので、やや減少した数値になるのかなというところではございますが、現在は感染者の総数についても減少の状況であるというようなことでございますので、救急搬送についても今後は、さらに減少傾向になるのではないかと見込んでおります。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） ありがとうございます、突然の質問に。

消防署員のほうも定数に達してない状況かと思っておりますけれども、消防業務の役割は非常に大きいと思っておりますので、引き続き職務に専念をしていただきたいと思います。署員の方にくれぐれもよろしく願いますようお願いいたします。

以上です。4点目。

それから、コロナ関連の最後の質問です。新型コロナ抗原定性キットの配布については、県のほうである程度準備がされていると。このことについてもネット環境がないとなかなか申請もできない。やはり高齢者の方々、当然、無理な話ですよね。これは検査体制も秋に向けて、冬場に向けての検査体制も同じような状況かと推察されますので、このことにつきましても、ある程度、もうこのコロナの感染につきましても市民の方々もそれなりに認識をされて、それから、病院に行ってもなかなか検査が難しい、時間がかかるというようなこともありましょう。保健所でも2日間、結果が出るのが2日後ということでございますので、この辺りも踏まえて、先ほどの入江君の圧の問題、それから検査キットと併せて、市のほうで御準備をぜひしていただきたいと思っております。この辺りは市長として、今、現時点で、今後のことも含めてその辺り、シールドを含めた全ての感染対策キットを含めて、市のほうである程度、御準備ができるような体制づ

くりのお考えがあればお願いしたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 抗原検査キットの配布の関係につきましては、先ほど答弁の中でもパソコン・スマホ等からの申込みになりますけど、可能ですよということは述べさせていただきました。確かに高齢者の方にとっては、ここら辺はちょっと難しいかなという話はしているんですけど、高齢者のみではなく、その周辺に若い人たちがもしあれば十分可能な話でもあるかというふうに思っておりますし、65歳以上の方については、検査等についてもある程度、優先してPCR検査等もしていただけるのかなと思っております。

ただ、しかしながら、今回、この第7波のようなで染状況の拡大が再び第8波によって来たときは、ここはやはり今おっしゃられるように、この検査キットの配布なりパルスメーターなり、こういったところは今後、前向きに検討していかなければならないというふうには思っております。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 高齢者の周りに若い方がいらっしゃればいいんですけど、そうでない方もいらっしゃいますので、またこの辺りも十二分に所内で、組織で共有いただければと思っております。

それから、この検査キットにつきましては薬局で市販されていますので、ちょっと割高ですけど、1,980円ですか、今。これを買ってまで検査ということは考えられないかも分かりませんので、その辺りも十二分に今後の協議事項として、検討事項としてお願いをしておきます。

コロナの感染症は、結核だとかSARSだとかは感染の5類に。すみません、2類に入っておりますので、コロナ感染症が5類に格上げされたということになると、これは市のほうも当然関わっていかなくてはなりませんので。

何回も言いますが、罹患するのは市民の皆様でございますので、市のそういったコロナ感染対策について、ソフト部分がちょっと見えづらい面があったものですから、今回、このような質問をさせていただきました。

是が非でも一つの窓口、大きな窓口を整備されて、そして、市民から御相談がいつでもどこでもできるような体制づくりは是が非でもお願いしたいなと思って、このコロナ関連につきましては、終わります。

それから2点目でございます。

医療用ウィッグの助成ということで「ある程度、対馬市にとっても前向きに検討したい」というお答えでございましたので、大きな予算措置は要らないと思いますよ。9月はもう終わりましたので、12月補正だとか、また新年度の当初予算だとか、いろんなことが可能でありますので、

これはもう是が非でも。万一のことです。

保険適応外ということは私も分かっております。当然、医療用ウィッグの対象者の方々の職場復帰や社会参加のために、その製作にはどうしても福岡に、島外に行かざるを得ないと。これについては当然、旅費も関わってきますので、その辺りを含めた予算計上を、予算措置をしていただきたいと思っております。

大体、今、実際に助成をしているところは、1件当たり1万5,000円とか、それから最高3万円とか、その程度だと思っております。

それから、九州管内でも佐賀県の伊万里、それから、みやき町、それから熊本県の大津町ですかね。それから、先ほどおっしゃいました長崎県の平戸と、新しくまたされたんですかね、もう1町ある。長崎県はその2つですね。2か所ということで。これは3件目に対馬市が名乗りを上げてください。住み慣れた地域で御家族と共に生活できるような環境づくりを。これは対馬市としても考えていかなければならないと思っておりますので、この予算措置については、今のところはまた今後の協議となりましようけども、いつ頃かを、この点だけちょっと。予定で進められるか、お願いしたい。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 実施に向けて検討してまいりますと本議会でも言いました。

いつかということまではお許し願って、できるだけ早い段階で実施に向けて予算にも上程したいと思えます。

○議長（初村 久藏君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） そのお言葉を皆さんお聞きになって少し安心されているのではないかとと思っておりますので、是が非でもこの予算措置に向けて対応をお願いしたいと思えます。

今日は非常に長くなりましたので、今の質問を持って終わりたいと思えます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、6番、伊原徹君の質問は終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わります。

明日も引き続き、定刻から市政一般質問を行います。

本日は、これで散会とします。お疲れさまでした。

午後3時15分散会

---